

# 2009年国際刑事裁判所（ICC）裁判官補欠選挙

平成21年7月  
国際法課

## 1. 背景

以下の2名の裁判官の後任について、補欠選挙が実施される。

- シャハブディーン判事【辞任】（ガイアナ出身、リストB、男性）
- 齋賀富美子判事【逝去】（日本出身、リストB、女性）

## 2. 補欠選挙

- 公示期間：8月5日～9月16日  
（注）各地域から複数の候補者が出ない場合には期間が延長される。
- 選挙日：11月18日～26日（第8回締約国会議初日）（於：ハーグ）

## 3. 立候補の条件

- 任期：辞任した判事の残余の任期のみ。  
今次補欠選挙については、選出される2名ともに2018年まで。
- 出身地域：中南米出身 又は アジア出身。
- その他：専門分野、性別については、制限なし。

（参考）裁判官の構成（定員18名、うち欠員2名）

- 専門分野：リストA（刑事法専門）が最低9名（現在11名）  
リストB（国際人権・人道法）が最低5名（現在5名）
- 男女比：男女ともに最低6名（現在、男性7名、女性9名）
- 地域配分：アジア、東欧は最低2名。アフリカ、中南米、西欧その他は最低3名。  
（現在、アジア1名、東欧2名、アフリカ5名、中南米2名、西欧その他6名）  
（注）地域配分は各地域の締約国数に応じて最低人数が決まる。
- 現在、リストBから選出された裁判官の中にアジア出身の裁判官は不在。
- 現在、全ての裁判官の中にアジア出身であり、かつ、女性の裁判官は不在。

## 4. 選挙手続

- 秘密投票。
- 出席しかつ投票する締約国（定足数は絶対多数、締約国は全109カ国になる予定）の三分の二以上の多数（すべての締約国が投票した場合73カ国）を獲得し、最も多くの票を得た候補者の順に選出（必要数に満たない場合には、投票を繰り返す。）。
- 各締約国は持ち票である2票のうち、1票は中南米出身の候補者、1票はアジア出身の候補者に投票することが求められることとなる予定（注：但し、それぞれの地域から複数の候補者が出ない場合にはその限りではない。）（了）